

侵入者 (1962)

THE INTRUDER

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 84分

公開情報 劇場未公開

【解説】

B級映画の帝王と呼ばれるロジャー・コーマンが手がけた唯一の社会派ドラマ。黒人差別撤廃を進める南部の町に一人の白人が現れたことから、人々の間にくすぶっていた人種差別の心に火がついてしまう。興行的に失敗に終わり、日本では劇場公開されなかった。原作・脚本は「不思議な世界の物語」「姦婦の生き埋葬」のチャールズ・ボーモント、主演は後に「スター・トレック」でカーク提督を演じるウィリアム・シャトナー。

南部の小さな町にやってきたアダム・クレイマーは、礼儀正しく白いスーツに身を包んだ紳士だった。だが彼は白人至上主義者であり、町に広がりつつある黒人差別撤廃の動きに異を唱え始めた。「このままでは町長も警官もすべて黒人になってしまう」という彼のアジェーションが、そこに住む白人たちの心を動かした。彼らは黒人の車の通行を妨げ、火を付けた十字架を立て、そしてついには黒人牧師のいる教会にダイナマイトを投げ入れてしまう。もはやアダムの手にも負えない状況になっていた。

【クレジット】

監督	ロジャー・コーマン	Roger Corman
製作	ロジャー・コーマン	Roger Corman
製作総指揮	ジーン・コーマン	Gene Corman
原作	チャールズ・ボーモント	Charles Beaumont
脚本	チャールズ・ボーモント	Charles Beaumont
撮影	テイラー・バイアーズ	Taylor Byars
音楽	ハーマン・スタイン	Herman Stein
出演	ウィリアム・シャトナー	William Shatner
	フランク・マクスウェル	Frank Maxwell
	ベヴァリー・ランスフォード	Beverly Lunsford
	ロバート・エムハート	Robert Emhardt
	レオ・ゴードン	Leo Gordon
	チャールズ・ボーモント	Charles Beaumont